



やさしく
かしこく
たくましく

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成



鬼は〜外〜!



先週、2月3日(金)、節分ということで1・2年生が豆まきをしていました。なまけ鬼、弱虫鬼、面倒くさい鬼、いじわる鬼など、誰の心の中にも追い出したい色々な鬼がいるものです。

1・2年生の子ども達の鬼はどんな鬼だったのでしょね。ぜひ、インフルエンザウィルスも追い払いたいものですね〜。

少し前の昼休み、校長室で仕事をしているとコンコンッと窓をノックする音。見ると1年生が手招きをしています。窓を開けて「なあに?」と尋ねると、「校長先生、見て下さいっ!」とのこと。できるようになった跳び方で跳ぶところを見てほしいようです。窓から顔を出すと目の前で一生懸命に跳んで見せてくれました。

最近、体育では縄跳びをしているようです。だから、昼休みにはいろんな学年の子ども達が、一生懸命に縄跳びをする姿が見られます。跳べる技がもっと上手になって今まで以上に跳べるようになる。今までは跳べなかった技で跳べるようになる。これはとっても嬉しいこと! 縄跳びは、そんな達成感を感じやすい運動です。



子ども達、そんな喜びを味わうことで、もっと何回も跳びたい、新しい技で跳べるようになりたい、もっと、もっと・・・とどん欲になり、意欲がどんどん大きくなって楽しそうに練習しています。運動でもあり、遊びでもあり一挙兩得です。

先日の昼休みには中庭に出てみると、何人もの子ども達たちが「先生、見ててください。」と言いながら跳んで見せてくれました。みんな上手になっています。



他の遊びもしていますよ。

寒さに負けずに がんばってま〜す



さすが4年生。スピード感が違いましたよ!

